

旧赤星鉄馬邸が国の登録有形文化財（建造物）に登録されました ～利活用に向けた検討を進めています～

アントニン・レーモンド設計による実業家赤星鉄馬の邸宅が、令和4年10月31日に国の登録有形文化財（建造物）に登録されました。

1 登録内容

- 1) 名称 旧赤星鉄馬邸
- 2) 住所 武蔵野市吉祥寺本町4丁目26番21号
- 3) 員数 1棟
- 4) 建築年代 昭和9（1934）年



2 建造物の特徴など

アントニン・レーモンド設計による実業家赤星鉄馬の邸宅。中央で屈曲した東西に長い中廊下型平面で、前庭側外観は水平連続窓となっています。庇を差し出した玄関に、スリットを入れた曲面壁の階段室を付し、コンクリート造形の可能性が追求された建物です。昭和31（1956）年からはカトリック・ナムユール・ノートルダム修道女会が所有していましたが、令和3（2021）年2月に武蔵野市の所有となりました。



建物玄関

3 利活用に向けた検討開始（市民ワークショップ参加者の募集）

『旧赤星鉄馬邸』の保存はもとより、緑豊かな庭との一体的な利活用により、この環境を将来につないでいくため、10月には一般公開やアンケートを実施しました。また同24日には有識者会議を設置し検討を開始しました。今後、市民の皆さんに知っていただくとともに幅広く意見をお聞きするためのさまざまな取り組みを進めていく予定です。

令和5年1月からは、全4回の連続ワークショップを実施し、利活用に向けた意見交換、グループワークなどを行う予定です。公募と無作為抽出により参加者（定員各25名、計50名）を募集します。対象は、原則として、全4回とも参加できる18歳以上の市民とし、定員を超えた場合には、年代を配慮の上抽選とします。詳細は、12月1日号市報および市ホームページなどでお知らせします。（12月14日応募締め切り）

【実施日】

- 第1回 令和5年1月22日（日）*旧赤星鉄馬邸見学あり、第2回 令和5年3月19日（日）、
第3回 令和5年5月14日（日）、第4回 令和5年7月9日（日）

■問い合わせ

登録有形文化財登録について 武蔵野ふるさと歴史館

0422-53-1811

利活用検討・市民ワークショップについて 総合政策部資産活用課

0422-60-1973